

令和 7 年 3 月定例会会議録

(令和 7 年 3 月 2 5 日)

八代市教育委員会

八代市教育委員会 3 月定例会会議録

【開催日】 令和 7 年 3 月 2 5 日（火）

【場所】 八代市役所本庁 4 階 4 0 3 会議室

【出席者】 中 勇 二 教育長
渡 邊 裕 一 教育委員
早 田 螢 教育委員
丸 山 智 子 教育委員

【出席職員】 田 中 智 樹 教育部長
下 津 恵 美 教育部次長
松 本 康 祐 教育部次長
松 本 豊 教育政策課長
加 賀 真 一 学校教育課長
稲 本 健 一 教育部理事兼教育施設課長
泉 宣 孝 生涯学習課長
上 角 愛美子 博物館未来の森ミュージアム副館長
植 田 浩 之 未来の学校づくり推進室長
盛 高 麻衣子 教育施設課長補佐兼係長
中 松 大 輔 教育政策課主幹兼学校給食係長
坂 本 梓 教育サポートセンター参事

【事務局】 萩 本 誠 子 教育政策課教育政策係長
浦 本 美代子 教育政策課参事

（審議事項）

<議案案件>

- ① 八市教委議第 1 0 号 令和 8 年度開園八代市立幼稚園の園名について（案）
- ② 八市教委議第 1 1 号 八代市学校施設等整備保全計画の一部改定について

<報告案件>

- ① 報告第 3 号 八代市議会令和 7 年 3 月定例会について
- ② 報告第 4 号 令和 6 年度 3 月補正予算の概要について
- ③ 報告第 5 号 令和 7 年度当初予算の概要について
- ④ 報告第 6 号 令和 7 年度八代市学校・子ども教育応援基金事業について
- ⑤ 報告第 7 号 （仮称）八代市新南部学校給食センター施設整備事業にかかる契約の締結について

1. 開会 (午後 3 時 3 0 分 開会)

2. 会議録の承認 令和7年1月定例会

3. 教育長報告 前回の会議から今回までに参加した行事や事業、委任された事項などの中で特に重要と思われるものについて報告

4. 議題

＜八市教委議第10号＞ 令和8年度開園八代市立幼稚園の園名について（案）

加賀学校教育課長 令和8年度の八代市立幼稚園2園の開園に当たり、園名を決定するものである。2月定例会において決定した5つの候補を各園に示し、各担任の援助のもと、各クラスで好きな順番を決定してもらった。資料により説明

新しく開園する2つの園名

●八代市立にじいろ幼稚園（現在の太田郷幼稚園）

●八代市立あおぞら幼稚園（現在の松高幼稚園）

渡邊教育委員 子供たちに愛される名前が付いたと喜んでいる。
公表はいつだろうか。また、園章、園歌は作るのだろうか。

加賀学校教育課長 公表の時期は検討中である。園歌は作る予定だが、メロディーと歌詞は現在のままで、園名の部分をそれぞれの新しい園名に変える予定である。また、園章については検討中である。

早田教育委員 とてもよい名前だと思う。「にじいろ」と「あおぞら」ということで、気象に関する言葉で統一性があると思う。素敵な名前が付いたと思う。

【八市教委議第10号 承認】

＜八市教委議第11号＞ 八代市学校施設等整備保全計画の一部改定について

稲本教育部理事兼
教育施設課長 2月定例会でいただいたご意見をもとに修正した。

盛高教育施設課長 2月定例会の協議を踏まえた見直し箇所について、資料により説明。
補佐兼建築係長

丸山教育委員 「ゼロカーボンやつしろ」について、具体策を記載してはどうかと意見を出したが、その旨の修正をしていただきありがたく思う。

- 渡邊教育委員 修正等の部分はよく理解できた。これでよいと思う。
写真について、泉小中学校の同じ場所の写真が角度を変えて2枚並べてあるが、これについては特段の理由があるのだろうか。
- 森高教育施設課長 策定当時の写真を使用しており、特段の理由があるものではない。
補佐兼建築係長
- 稲本教育部理事兼 見直したいと思う。
教育施設課長
- 丸山教育委員 前回、指摘のあったグラフについては、改善されただろうか。
- 森高教育施設課長 紙で配布した資料は修正されていないが、データで配布した資料は修正をしている。
補佐兼建築係長

【八市教委議第11号 承認】

<報告第3号> 八代市議会令和7年3月定例会について

- 教育部長 八代市議会令和7年3月定例会において、4人の議員から次の4件の質問があった。資料により説明
- ① 大倉 裕一 議員
・不登校の子ども及び保護者へのアンケートについて
 - ② 谷口 徹 議員
・本市の教育費の拡充について
 - ③ 友枝 和也 議員
・本市の学校給食費について
 - ④ 野崎 伸也 議員
・本市の子ども達の学力低下について
- 渡邊教育委員 谷口議員から質問のあった学校支援職員配置事業について、今年度の配置は終了していると思うが、応募状況はどうだったのだろうか。また、完全配置できただろうか。確認をしたい。
友枝議員の給食費無償化に関連して、無償化は保護者にとっては大変ありがたいことだと思うが、学校や教育政策課、学校給食会においては、業務上の負担増減があるのだろうか。
- 加賀学校教育課長 日本語支援員が1名不足している。5名のうち4名しか決まっていない。特別支援教育支援員は完全配置できたのだが、辞退があり1名決まっていない状態である。

松本教育政策課長 無償化をした場合、徴収業務がなくなるので、学校の負担軽減になる。教育政策課としては、予算化して、どのような形で食材の発注と支払いを行うのか、学校もしくは学校給食会で食材を調達し、支払いをしていただいているが、今後、市から学校もしくは学校給食会に代金を渡すという形であれば、予算化だけでよい。市で業者に対して支払いを行うという形であれば、市としては支払業務が発生してくる。

田中部長 他市町村でも行っている学校給食費の公会計化を予定している。公会計化とは、市の予算で税金等と同じように保護者から徴収し、徴収したお金で食材を調達し、給食センターや単独調理校に材料を提供するという形である。無償化が始まると、徴収業務はないがその後の業務は同様である。教育政策課の職員が食材の調達から行うというのは難しいのではないと思われる。案としては、これまでどおり学校給食会に食材の調達を委託することを考えている。単独調理校は、それぞれの学校で、地元の業者さんから食材を調達されているので、これについては検討が必要である。単独調理校の分も含めて、学校給食会に食材の調達を委託するのか、今後、検討する必要がある。地元の業者さんとの関係もあるので、いろいろな調整が必要になってくるとと思われる。

中教育長 公会計化については、スピード感を持って令和9年度から開始をする予定であったが、無償化は令和8年度からということであるので、さらに1年早く準備をする必要がある。無償化になると、徴収業務はないが後の業務はあるので、検討をスピードアップしなければ、予算要求時あたりで始めても間に合わないと思う。

田中教育部長 市で食材調達を行うとなると、業者選定は入札を行う必要がある。財産の取得についても議会に諮る必要があるので、学校給食会に委託ができないか、今後検討していかなければならない。

早田教育委員 給食費の無償化は、県内ではどの市町村が導入されているのだろうか。八代市と同規模の自治体で、全国で導入されている自治体はあるのだろうか。

松本教育政策課長 県内では宇城市が完全無償化、荒尾市は小学校だけが無償化となっている。小規模の町村で無償化されており、合計14市町村である。また、熊本市は令和8年度から無償化の考えを市長が示されたところである。国のほうでは、令和8年度から小学校を無償化すること、中学校においても速やか

に無償化できるようにという発言があった。本市においても令和8年度から給食費を無償化すると発言があったので、中学校は一般財源で無償化を進めていくことになるのではないかと考える。今後の展望としては、国の発言を踏まえて、無償化する自治体が増えるのではないかと。

田中教育部長

芦北町も無償化をしている。氷川町でも同じ発言があった。

中教育長

国のほうで、どのような形で無償化を行うのか決定されていない。全額となるのか、基準額が設けられると思うが、一般的に食材費は地方のほうが安いと思われるので、都市部の金額を参考にするのか、どのような形になるのか油断できない。

田中教育部長

子育て支援の面から考えると、県立中の生徒はどうするのか、不登校の生徒はどうするのかということもある。公立学校に通っているからという要件だけでは難しいのではないかと。国の制度設計を見ながら調整したい。

早田教育委員

子供がご飯を食べる対価として給食費を支払うのは、個人的には当然の感覚だったので、保護者が無償化を本当に望んでいるのか疑問に思う。無償化されるとありがたいが、本当に経済的に余裕がなく、給食費が払えないという家庭は少ないのではないと思うが、国の方針であれば受け入れなければならぬと感じたところだった。

先日、坂本町と東陽町出身の大学生と一緒に仕事をする機会があった。自分たちの給食はとても良かったと話していた。1人は被災をした子だったので、しばらく八代市の学校で過ごしていたが、給食の違いに驚いたということだった。自分たちが自校給食を食べることができたことは、誇らしいことであり、とても良かったということだった。自分の子供に求めていることとしては、食育をしっかりと、食べ物を大切にして大人になってほしい。国の方針である無償化が、本当に子供たちのためになるのかと考えたところだった。

<報告第4号> 令和6年度3月補正予算の概要について

松本教育部次長

公立幼稚園において、本年度をもって任期満了となる臨時任用職員3人分の退職手当の不足額を補正するもの。

資料により説明

質問等なし

<報告第5号> 令和7年度当初予算の概要について

松本教育部次長 3月19日に可決された主なものについて資料により説明

- I C T授業サポート事業
- 未来の学校づくり推進事業
- 学校等管理運営事業（小・中・特別支援学校・幼稚園）
- 学校施設 L E D 化事業（小・中学校）
- 学校耐力度調査事業（小・中学校）
- 学校教材充実事業（小・中・特別支援学校）
- I C T 教育推進事業（小・中・特別支援学校・幼稚園）
- 学校施設トイレ改修事業（小・中学校）
- 不登校児童生徒生徒の教育支援事業
- 幼稚園再編事業
- （仮称）新南部学校給食センター施設整備事業
- 学校給食費負担軽減事業
- 生涯学習推進事業
- 図書館管理運営事業
- 博物館施設整備事業
- 公立学校施設災害復旧費

丸山教育委員 幼稚園再編事業における施設改修について、内容はどのようなものか。

稲本教育部理事兼
教育施設課長 太田郷幼稚園について、駐車場が狭いため、第二中学校のほうまで拡張し整備する。この費用が1,400万円ほどである。また、事務室等の一部であるが、内部改修を行い、2教室分の冷暖房設備に600万円ほどを見込んでいる。トイレについて、必要最小限であるが洋式化を行う。

松高幼稚園について、冷暖房の改修工事に1,000万円を見込んでいる。また、トイレの洋式化を行う。

両園について、看板設置、玄関口のリフォームを検討している。詳細については、園と協議をしながら工事を行いたい。時期については、協議をする日程調整を行う必要があり、すぐ発注をしないと間に合わないので、夏休みか冬休みになるのではないかと考えている。また、遊具関係をどうにかできないだろうかと園から要望があった。廃園になる園から移設したいと考えており、令和8年度の時期を見ながら工事を行いたい。開園時には間に合わないと思われる。

丸山教育委員 工事の時期も気になっていたので、説明していただいてよかった。太田郷幼稚園は遊戯室がとても古いが、これについては今後の課題ということになるだろうか。

稲本教育部理事兼 どうにかしたかったが、今から改築となると設計、施工が

教育施設課長 間に合わない。将来的に園児数の見込みを立てながら検討したい。

田中教育部長 太田郷幼稚園の駐車場は、第二中の体育館のラインまで拡張する。

丸山教育委員 何台分増えるのだろうか。

稲本教育部理事兼
教育施設課長 10台ほどと見込んでいる。

田中教育部長 職員も増えるし、保護者の方の送迎もあるため、駐車場の整備は必要である。遊具は廃園となる園から移設するが、3月31日までは子供たちがいるので、園を閉めて移設する。そうすると、令和8年度の夏休みくらいになるのではないかと考える。この事業には、園歌や園章に係る経費も含まれる。また、令和7年度は交流保育を行うため、子供たちの送迎の経費も含まれる。

<報告第6号> 令和7年度八代市学校・子ども教育応援基金事業について

松本教育政策課長 令和6年12月定例会において、令和7年度基金事業の予算要求状況を報告したが、八代市議会3月定例会において、予算案が承認されたため、改めて報告するものである。財政課の査定により、消耗品等、一部減額された箇所があるが、要求した全ての事業について承認されたため、来月から事業を進めていきたい。

田中教育部長 基金の残高はどのくらいだろうか。

松本教育部次長 約1,600万円である。

渡邊教育委員 13件の事業が承認されているが、応募があったのが13件だろうか。

松本教育政策課長 応募はまだ多かった。英検の補助金は本予算で計上することになった。減額はあったものの、学校、園から応募があった事業については、全て承認された。

渡邊教育委員 もう少し多く応募があるかと期待していたのだが、例年このくらいだろうか。

松本教育政策課長 例年はまだ少ない。学校、園から上げやすくするために、要領を見直したところ、今回は応募が多かったので、金額を

調整しながら決定したところである。

渡邊教育委員

要領の改正については、以前報告をいただいていたので、応募が多くなったのであれば良かった。

早田教育委員

防災教育に予算を確保していただきありがたい。おかげで、市内の小学校５年生全員に防災講座を受けていただいた。第八中では、災害のリスクが高いので毎年、小学生と中学生に防災講座を受けていただき、意識と知識を高めてもらうことができ、素晴らしい取組だと思う。他自治体職員の方と防災のワークショップの取組はどこでされるのかという話をしたときに、熊本県で行っているのと、八代市では全ての小学校で行っていることを伝えると驚かれていた。全ての学校で広く行うということは他県ではもっと難しい。全体的に防災講座を行うということは、子供たちに防災の力が付くと思うので感謝したい。この取組について、もっとアピールできるとよいと思う。

中教育長

講座を行って終わりではなく、市民の方々にこの取組を周知すると、子供たちがしているんだったら、大人も勉強しようかと思うかもしれない。取組を周知することもしっかり行っていきたい。

田中教育部長

ご寄附をいただいた方々には、基金事業で行った取組をご報告している。この事業は、皆さまからの寄附で成り立っているので、教育委員会としてもより周知して、寄附を募りながら必要な事業を行っていききたい。前の当初予算の報告の資料に、【八代市学校・子ども教育応援基金活用事業】とあるのが、本事業で行うものである。【ふるさと八代元気づくり応援基金活用事業】とあるのは、ふるさと納税を積み立てた基金を活用したものである。八代市は２０億円ほどいただいている。

<報告第７号>
契約の締結について

（仮称）八代市新南部学校給食センター施設整備事業にかかる

松本教育政策課長

今回の給食センター施設整備については、工事請負の予定価格が１億５，０００万円以上の契約であるため、八代市議会の議決に付すべき案件であることから、３月定例会に提案し承認されたので報告するものである。資料により説明

早田教育委員

駐車場が広いと感じたが、この給食センターでは、何人くらいの方が働くのだろうか。

中松教育政策課主幹兼学校給食係長 調理員、配送員、事務員含め、60～65名程度を想定している。

中教育長 駐車場の要求水準は何台であったか。

中松教育政策課主幹兼学校給食係長 60台である。

早田教育委員 防災スペースを作るということだが、この地区は洪水の浸水区域に入っていると思うが、津波はどうだろうか。

松本教育政策課長 津波はゼロである。

渡邊教育委員 第1次審査について、申請書類提出も大変な作業であると思う。せっかく書類を提出したのに、参加資格要件を満たさず欠格となったのは、どのような要件を満たしていなかったのだろうか。

松本教育政策課長 建設、設計、調理設備の事業所が一緒になってグループを形成してもらい、申請をいただいた。それぞれに実績の要件があったが、これを満たしていない項目があった。

中教育長 2者で審査できるともっとよかったのだが、残念であった。

早田教育委員 審査の総評に、地球環境問題も含めた体験型の食育機能を有する提案とあるが、どのような提案だったのだろうか。

中松教育政策課主幹兼学校給食係長 体験型については、手洗い体験などである。地球環境については、高性能な残菜処理機の提案があり、生ごみの水分をしっかりと絞って、30%くらいに軽減させるというような情報を子供たちに開示し、学習してもらうという提案だった。

田中教育部長 今回は、結果的に1者のプレゼンテーションであったが、予定時間を大幅に超えて、選定委員と業者との意見交換があり、審査が行われた。

中教育長 選定委員の方々の意見は厳しく、残菜処理でいうと、堆肥化の機能はないのかなどという意見もあった。地球環境への配慮などは項目として設けてあった。水準をどう上回った提案をされているかを配慮されるような点数の付け方だった。

丸山教育委員 出入り口はどのようなになるか。

松本教育政策課長 南部幹線が完成するまでは、麦島団地方面の道路から出入りをするようになる。南部幹線が完成すると、南部幹線側と2カ所から出入りすることになる。

5. 連絡事項
- | | |
|-------------|--|
| 教育政策課 | 会計年度任用職員の懲戒処分について |
| 学校教育課 | 校長連絡会議（4/1 14：30～）
始業式（4/8）入学式（4/9）入園式（4/10）
新規採用教職員宣誓式（4/14 午後）
市学力調査実施（中1～3）（4/14～18） |
| 生涯学習課 | 婦人会連絡協議会総会（4/24）
キッズチャレンジ子ども陶芸教室（4/29） |
| 教育サポートセンター | くま川教室開級式（4/18）
千丁支所空調設備工事によるくま川教室の仮移転について（R8.4～5） |
| 未来の学校づくり推進室 | 第5回再編等審議会答申（R7.4月以降） |
| 事務局 | 4月定例会日程確認（4/23 15：30～） |

6. 会議録署名委員の指名 渡邊委員・早田委員

7. 閉会 （午後5時32分 閉会）

令和 年 月 日

署名委員

記録者
